

姫路

映像提供、身近な話題、写真・情報を下記へご連絡ください。

■ 姫路支社 ■

〒670-0964
姫路市豊沢町78
編集部 TEL:079-281-1125
FAX:079-281-9277
e-mail:himeji@kobe-np.co.jp
営業部 TEL:079-281-1124
業務部 TEL:079-281-1122

■ 神崎支局

TEL:0790-22-0045
FAX:0790-22-6659

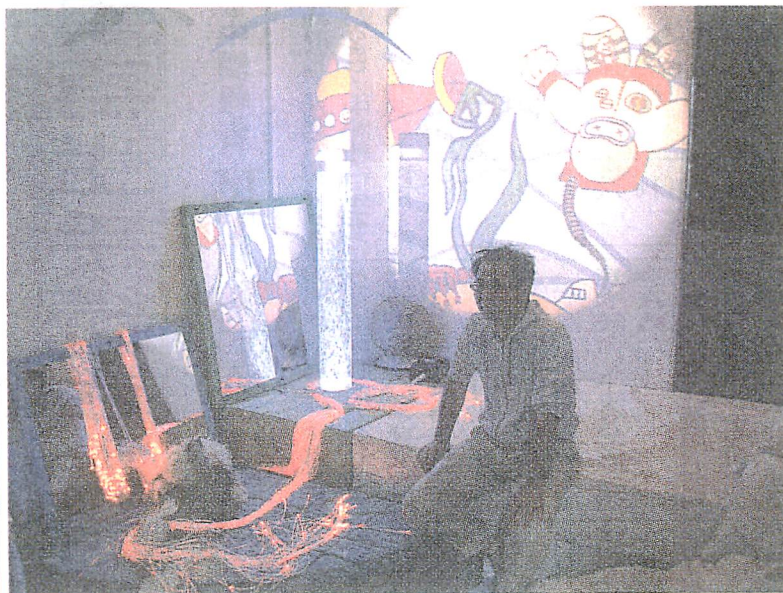
読者サポートセンター (月～土) 10:00～17:30
TEL:078-362-7056

1F 文房具用品 2F 書道用品 3F ちぎり絵用紙
事務用品 水画用品 額縁
日本法令様式

せい たん どう
文房四宝 専門店
青丹堂

姫路市二階町4-6 (みゆき通り) 年中無休
電話 079 (225) 0536(代) FAX 079 (222) 4643

障害者が受け入れやすい感覚や刺激を用意し、ゆったりとできる時間を提供する「スヌーズレンルーム」の導入が、県内の障害者施設などで広がっている。光や音、匂い、振動などを組み合わせて「非日常的な」空間を演出し、利用者が好みの感覚を選んで楽しむ。日本スヌーズレン協会事務局が置かれる姫路独協大(姫路市上大野7)を中心に、セミナーや見学会などを通じて安らぎを共有できる空間づくりが広がっている。(三木良太)



障害者に安らぎの時間

光や音で好みの空間演出

「スヌーズレンルーム」県内で導入動き

光や音、感触など好みの刺激や感覚が選べるように演出されたスヌーズレンルーム。姫路独協大

スヌーズレンは1970年代にオランダの障害者施設で始まった活動。オランダ語の「くんくん匂いをかく」と「うとうとする」を組み合わせた造語で、障害者が支援者らと心地よいひとときを共有することを目指す。指導や療法とは異なり、余暇のような時間を指すが特色で、ヨーロッパでは病院や学校にも導入例がある。

スヌーズレンルームでは、筒状の水槽の中で泡が光ったり、壁に模様を映し出したりする機器などで障害者らが刺激を受

け取りやすい環境を用意。関心や反応は個人差があるが「利用した障害者が落ち着いた」一緒に入った支援者もゆつたりとした気分になった。などの報告があるという。

同協会によると、国内300以上の施設に導入され、県内では今春改修

漢方薬の老舗
赤船堂
2階 かいり軒
288-2549

された姫路市総合福祉通園センター「ルネス花北」など約20施設にあるという。同大に併設するスヌーズレンルームは障害児と保護者向けに定期的に開放されている。

同協会理事の太田篤志姫路独協大教授は「個々の障害者が必要としている楽しみ方を共有できる場になれば」と期待を込める。

同大スヌーズレンルームについては子育て・発達障がいサポート運営委員会 (playroom@himeji-du.ac.jp) へ。